



全校会礼校長講話「吹雪に新聞を飛ばされた日」

令和 3 年 12 月 1 日(水)

今日は、私がとても印象に残ったある本の一説を紹介したいと思います。ちょっと想像してみてください。あなたは新聞配達所の店主。配達員をつかって、毎朝、新聞を各家庭に配達しています。ある吹雪の朝。最近、入ったばかりの 30 過ぎの配達員が、泣きそうな顔で戻ってきました。聞けば、途中で自転車が転倒し、配達すべき新聞を吹雪に飛ばされてしまったとのこと。雪の日は転ばないように気を付けるのは当たり前。転んでも新聞が飛ばされないようにしておくのも当たり前です。それなのに、この新人、半分以上の新聞を失くしてしまった…。

新聞の予備はまだあります。でも、これから再配達に行っても、「遅い！」とクレームになるかもしれない。さて、あなたは眼の前で謝っているこの配達員に何と声をかけますか？

この話は実話です。新聞を飛ばしてしまった配達員の名は河瀬和幸さんと言います。現在は商品プロデューサー、セールスクリエイターとして独立し、大活躍している方です。

この河瀬さんは、東京の大企業に勤めるエリート社員でしたが、35 歳の時にトラブルに巻き込まれて退職。その後、事業を興しましたが失敗し、何もかも失って、生まれ故郷の北海道に戻ってきたのです。そこで、生活のために始めたのが新聞配達のアパートでした。

その日は朝から猛烈な吹雪。何しろ北海道の吹雪ですから、生易しいものではありません。すさまじい風と雪で、自転車の車輪をとられ転んでしまい、積んでいた新聞が吹き飛んでしまったのです。吹雪で空に舞い上がる新聞。それを必死に追いかける河瀬さん。でも、半分以上の新聞は吹雪の中に消えてしまいました。ほんの少し前まで大企業でバリバリ仕事をしていたのに、今の自分は吹雪の中で新聞を追いかけている。その場で地面に突っ伏して泣いてしまいたい…。そう思う気持ちを抑えて河瀬さんは新聞配達所に戻り、何が起こったか正直に話して、店主に詫言いました。

さて、ここで最初の質問に戻ります。あなたが店主なら、河瀬さんに何と声をかけますか？店主になりきって考えてみてください。

この時店主が言った言葉を、河瀬さんは、「決して忘れない」と語っています。「河瀬さん、大丈夫、大丈夫、あわてないでも大丈夫です。本当にひどい吹雪ですねえ。」

吹雪で凍りついた心を、毛布で包み込んでくれるような温かい言葉です。この店主、そう声をかけると、何一つ文句を言わず、再配達につき合ってくれたのだそうです。果たして、自分が店主だったら、そんな言葉をかけてあげられるだろうか？と自問自答してしまいます。

河瀬さんはこう言います。

「あの時、店主が温かい言葉と共に寄り添ってくれたことは、決して忘れはしません。だから私も、逆境の真ただ中にいる人がいたら、その人が孤立しないように、その人に寄り添ってあげることにしています。」

その後、河瀬さんは再びビジネスの表舞台に再び咲き、現在に至ります。もしかしたら、この新聞販売所の店主は、河瀬さんへそんな言葉をかけたことを忘れているかもしれません。でも、一番つらい時に、温かい言葉をかけてもらった河瀬さんの方は、一生忘れないことでしょう。

たった一言が、人の心に一生心に残ることがあります。くじけそうな心を支えてくれることもあります。人は人に支えられて生きているのだと感じます。

最後に、短歌を一首紹介します。

「ドラえもん 話を聞いて そばにいて ひみつ道具は 出さなくていい」

12 月 4 日から 10 日まで「人権週間」です。「人権」は、日常の思いやりの心によって守られていくものだと思います、この話をしました。

「33 の物語と 90 の名言」より

10月～11月 表彰・受賞等の記録 (敬称略)

税の標語

磐田税務署長賞

磐田間税会長賞

磐田財務事務所長賞

漢字能力検定

準2級

3級

HPでは省略させていただきます

4級

5級

第1回磐田防災コンテスト

しんせつハウス賞

浜松磐田信用金庫賞

特別賞

学校賞

※1年生が多数参加しました。

磐周中学校総合体育大会

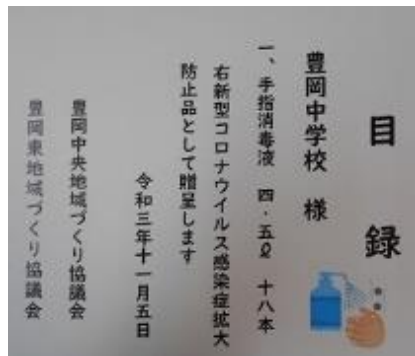
特別賞



手指消毒液を贈呈していただきました

豊岡中央地域づくり協議会、豊岡東地域づくり協議会から、昨年度に引き続き手指消毒液4.5ℓを18本贈呈していただきました。

現在、登下校時や給食時、スクールサポートスタッフ等による共用部分の消毒等で毎日、使用しています。予算が限られている状況で、この御支援はたいへん有難いです。感染対策として有効に活用させていただきます。



お知らせ【朝の登校時刻について】

現在、新型コロナウイルス感染対策の一つとして、各学級ごとに時間差を設けて登校しています。しばらくはこの対応を継続していきますが、今後の感染状況を鑑み、一斉の登校に戻すことも考えていきます。

過日、愛知県弥富市の中学校で大きな事件がありました。この事件から、本校の全教職員で生徒の日々の様子を丁寧に見とること、気になる様子があれば、その情報を共有すること、教室や特別教室等の安全面を点検すること等を確認しました。

また、生徒の活動には教師がしっかりつくことの重要性を再認識しました。

一方で、職員の超過勤務時間を減少させることも課題となっています。職員の勤務時間開始の8時15分に生徒の登校時刻を近付け、より安全・安心な学校生活の確保に努めていくために生徒の登校時刻を8時00分とする案も含めて、検討してまいります。

今後、PTA役員会や学校運営協議会等でも話題にあげていきますが、保護者の皆様から、御意見等がございましたら、教頭まで御連絡いただきますよう、お願い申し上げます。